

3 練環推第 637 号
令和 3 年 9 月 16 日

国立大学法人東京学芸大学学長

國分 充様

東京学芸大学附属国際中等教育学校校長

荻野 勉様

練馬区長 前川 耀男

「ねりまの名木」ヒマラヤスギ並木の保全について（依頼）

日頃から練馬区政にご理解、ご協力を賜り真にありがとうございます。

東京学芸大学附属国際中等教育学校敷地内の「ねりまの名木」ヒマラヤスギ並木につきまして、剪定を行っていただき、ありがとうございます。

令和 3 年 8 月 31 日付、東京学芸大学附属国際中等教育学校長名で、当該ヒマラヤスギ並木は安全確保のため伐採したい旨の通知を拝受しました。

これまで度重なる協議の中でお知らせしているとおり、区が実施した樹木診断では、当該ヒマラヤスギの健全度は 5 段階評価で健全度が高い方から 2、3 段階となっており、伐採相当ではありません。

区では、ねりまの名木を対象とした、樹木医による生育状況調査の実施に加え、所有者に対し、腐朽部分の治療工事・剪定費用の助成など各種制度を用意し、適正な維持管理に取り組んでいます。区民に親しまれている名木を、後世の財産として残していくため、今後も貴法人において剪定による適正管理を行い、保全に努めていただくようお願いいたします。

また、伐採について再考いただくよう、重ねてお願い申し上げます。